

DRUG

INFORMATION



2015 No. 6

平成27年3月11日発行

麻薬事故に対する注意喚起について

岐阜大学医学部附属病院・薬剤部
医薬品情報管理室
(内線7083)

※ Drug Information は医学部・附属病院 HP の下記アドレスにて提供しています。
<http://www1.med.gifu-u.ac.jp/drug-info/>

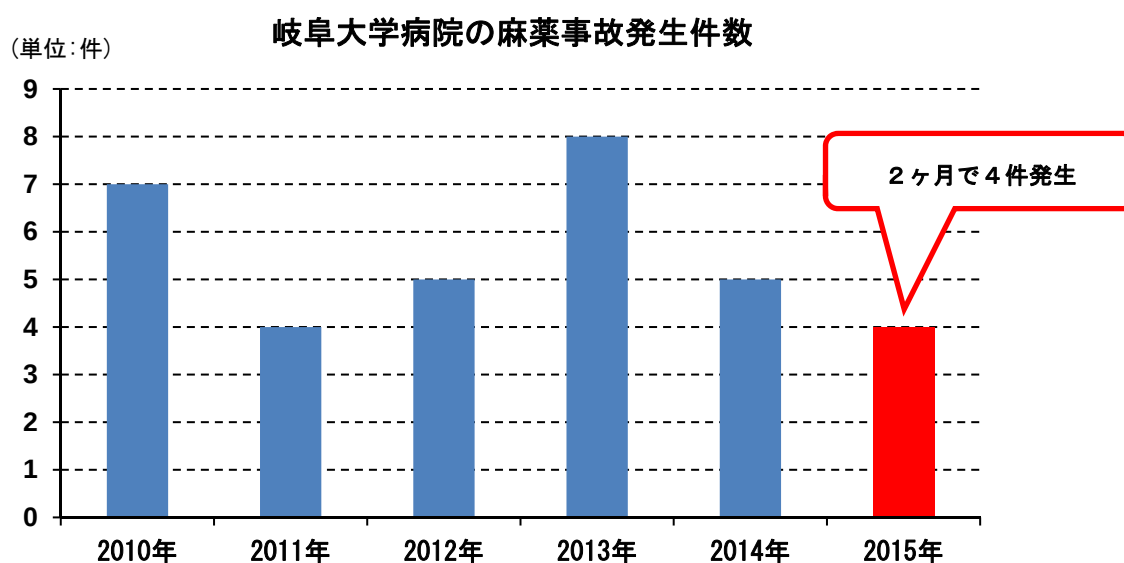
電子メールによる連絡を希望される方は下記までご連絡下さい。
di8931@gifu-u.ac.jp (担当：安田)

麻薬事故に対する注意喚起について

麻薬は適正な管理が必要とされるため運用が規制されており、取扱いに最も注意すべき薬剤です。しかし、岐阜大学病院における麻薬事故報告は 2015 年に入ってから既に 4 件発生しています。内訳としては、2 件は入院患者自身による内服薬服用時の破損ですが、残り 2 件は看護師の不注意によるモルヒネ注アンプルの落下とモルヒネ水剤の落下による破損です。

そのため、注意喚起を含め麻薬の取り扱いについて周知することとしました。

以下に当院における最近の麻薬事故の報告件数を示します。



報告のあった主な麻薬事故としては、以下の事例がありました。

A. 注射剤や内服薬の落下による破損

- ・フェンタニル注やモルヒネ注のアンプルやコデイン散、モルヒネ水を落として破損した。

B. 注射剤や内服薬の誤廃棄

- ・アルチバ注が入ったシリンジやモルヒネ注が入ったインヒューザーをミッペールに廃棄した。
- ・モルヒネ注シリンジ内の残液を流しに廃棄した。
- ・オキシコンチン錠を薬袋ごとシュレッダーにかけた。

C. 注射剤の漏出

- ・インヒューザーポンプからモルヒネ注が漏出した。
- ・オキファスト注のシリンジの押し子が外れて漏出した。

D. 外用剤の紛失

- ・フェントステープを交換の際、貼付部位に薬剤がなかった。

★麻薬の与薬や投与の際の注意事項として、以下のことを厳守してください。

- ・麻薬を取り扱う際には、**安定した場所**で作業を行い、作業が**中断されることのない**ようにする。
- ・ベッドサイド等、**落下しやすい場所に置かない**。
- ・シリンジ、インフューザー、空バイアル、薬液、薬袋など**廃棄しない**。
- ・シリンジはゆとりをもって使用し、**デバイスは緩み等必ず確認する**。
- ・外用剤貼付患者の入浴後や衣類交換時は**貼付状況を確認する**。

事故発生時はすみやかに薬剤部に報告してください。また、破損した薬液は可能な限りシリンジ等で回収し、シリンジで回収できない分はガーゼ等で拭き取り回収した後、電子カルテ内より麻薬事故報告書を印刷して必要事項を記入し、薬剤と共にすべて薬剤部に提出してください。薬剤部長より麻薬事故届を作成し、岐阜県庁健康福祉部薬務水道課を通じて県知事に報告します。

事故が発生すると、現場検証や対策検討などに多くの時間が費やされ業務負担も増加します。くれぐれも麻薬の取扱いには注意してください。

問合せ先：薬剤部 麻薬管理室（内線：８３１２）